

No.8 大阪市立中央図書館 [大阪府] 外国語資料の提供・外国語に関する情報の提供

Keywords : 多言語対応、やさしい日本語、幅広いライフステージへの支援

背景

大阪市の外国人人口は 14 万人超、全人口に占める割合は 5.34%と、指定都市の中でいずれも最大である。これは大阪市が、以前から外国人住民が多く居住し、根付いてきた地域であるからである。

そうした中、多文化に触れて理解を深める機会や、外国人住民にとっては母国語に親しむ機会を提供するため、大阪市立中央図書館（以下「中央図書館」という。）では、平成 8 年のリニューアルに併せて外国資料の提供サービス等を新たに開始した。

<大阪府大阪市>

人口：2,739,963人（12,160人/km²）

主産業：卸売業、小売業

外国人人口：144,123人（5.26%）

外国人出身国・地域

- ①韓国
- ②中国
- ③ベトナム

外国人在留資格

- ①特別永住者
- ②永住者
- ③留学



取組内容

中央図書館は、外国資料コーナーの設置、多言語読み聞かせイベント等を行っている。

① 外国資料コーナーの設置

中央図書館では、地域の外国人住民の傾向を踏まえ、英語、韓国・朝鮮語、中国語（簡体字・繁体字）を中心に、スペイン語、ポルトガル語、タイ語など 13 言語の図書、雑誌等が利用できる。生活に役立つ実用書や、ポピュラーな小説、児童書のほか、日本での生活や日本の文化・習慣を外国語で記した資料、日本語学習の参考書、外国語に関する資料等を収集し、館内の「外国資料コーナー」で開架している。



▲「外国資料コーナー」として、外国に関連する図書、雑誌等の棚を設けている

取組内容（続き）

また、中央図書館では 13 言語及びやさしい日本語による利用案内を作成・設置しているほか、新着の外国語資料の一覧をホームページで公開している。

② 多言語読み聞かせイベント「いろんなことばのおはなし会」の実施

英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国・朝鮮語による絵本の読み聞かせや、手遊び、絵本の紹介、歌を歌うなどの子供向けイベントを行っている。開催は年 6 回で、子供たちや保護者を相手に、ボランティアスタッフが活動している。

取組のポイント

■ 外国人に関する統計数値を踏まえた資料の購入計画の立案

大阪市は韓国・朝鮮、中国、ベトナム系の外国人住民が多い傾向にあるが、国籍ごとの外国人人口は流動的であるため、外国人に関する最新の統計数値を、購入計画立案の参考にしている。直近では令和元年度にネパール語の図書を収集対象として追加した。

■ 友好都市との協力による図書収集

ハンブルク市（ドイツ）は大阪市の友好都市の一つである。平成 21 年には「図書館交流協定」を締結し、この協定に基づいて、毎年互いに資料を送りあっている。小説・絵本・社会・家族・健康・経済など多様な図書等を交換しており、中央図書館が所蔵するドイツ語図書約 1,400 冊の過半数がこの取組により収集したものである。

取組による成果・今後の展望

外国資料コーナーにおいては、英語、中国語、韓国・朝鮮語の書籍、特に小説・絵本・物語の貸出が多い。また、「いろんなことばのおはなし会」は平成 30 年度から 3 年間で 16 回開催し、延べ 271 人が参加した。外国資料を日本人が借りることや「いろんなことばのおはなし会」に日本人の親子が参加することも多く、外国人住民が母国語に親しむだけでなく、日本人住民が多文化を理解する機会としても利用されている。

大阪市立中央図書館

TEL : 06-6539-3300

URL : https://www.oml.city.osaka.lg.jp/index.php?page_id=1331

（取組紹介 HP）